

授業科目 基礎作業学概論

【担当教員名】 榎本郁子 他	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<一般目標：G I O>

作業療法の基礎学として、人間の作業行為を身体的・精神的・心理的・社会的・文化的関係から考え、講義・体験を通して作業療法で用いる「作業」を学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 人間の生活と作業の歴史を説明できる | 9. 作業活動を通して、精神的影響を述べられる |
| 2. 人間と作業、作業と生活、作業と健康、作業と文化の関わりを述べられる | 10. 作業療法士が作業を用いる意義を述べられる |
| 3. 作業療法で用いる「作業」について自分の言葉で述べられる | 11. チェックリストから疑問点を明らかにし正しい知識を得られる |
| 4. 作業療法の定義を述べられる | |
| 5. 作業分析には目的に応じて幾つかの方法があることを理解し、説明できる | |
| 6. 作業活動を通して、作業分析の枠組みを説明できる | |
| 7. 作業活動を通して作業分析が出来る | |
| 8. 作業活動を通して、身体的影響を述べられる | |

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	1. 基礎知識 1) 作業学の定義 2) 人間の生活と作業の歴史 2. 作業の分類 1) 作業と生活 2) 作業と健康 3) 作業と文化	1~4	講義 榎本 毎回修得チェックリスト記入(個人学習) 24時間時間調査の作業
2	24時間生活調査	2~3	講義 榎本
3	1. 作業適応の知識 1) 作業分析の歴史、還元主義的作業分析 2) 包括的・限定的作業分析 2. 作業実習(作品づくり)	5~6	講義 榎本
4	作業実習(作品づくり)	6~7	グループ 榎本
5	作業の生理学的分析	8	講義、体験 永井
6	作業の精神的・心理的分析	9	講義、体験 岡村
7	まとめ 1) 作品紹介と作業分析 2) 修得チェックリストの確認	10~11	講義、グループ発表 榎本

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	作業療法学全書第2巻「基礎作業学」, 日本作業療法士協会監修、共同医書出版 1999 (第2版) ¥2,600 (+税)			
参考書	作業・その治療的応用	日本作業療法士協会編集、協同医書出版、1999		¥8,500 (+税)
	ひとと作業・作業活動	山根 寛他	三輪書店	1999 (第1版) ¥3,300 (+税)
その他の資料				

【評価方法】

出席 10%、提出物レポート 40%
試験 50%

【履修上の留意点】